

三焦鍼法実践セミナーの趣旨

医療・介護・患者を知る Gold-QPD 鍼灸師育成 15 年

1. Gold-QPD 鍼灸師の資格認定証の授与
2. 認定後の生涯学習サポートと地域貢献
3. 三焦鍼法上級資格とマスター資格認定証の授与
4. 鍼灸師と鍼灸学校学生のための統合医療



設立 70 周年記念版

一般社団法人老人病研究会（2024 年）

（2026年5月 一部改訂）

— 新たな臨床の扉をひらく —
三焦鍼法実践セミナーのご案内

目次

会長挨拶	2
第1章 なぜ、いま三焦鍼法	3
第2章 三焦の視点で読み解く身体	4
第3章 三焦鍼法実践セミナーの新版	5
第4章 いつでもどこでもオンライン映像	7
第5章 受講手続きと受講料について	8
第6章 三焦鍼法実践セミナーの来歴	9
編集後記 未来への展望、次なる挑戦	10

ご挨拶

一般社団法人老人病研究会 会長 川並 汪一

一般社団法人老人病研究会は、医療・鍼灸・介護の多職種連携を基盤に、15 年余にわたり実践的かつ学術性の高い鍼灸師教育に取り組んでまいりました。本研究会の教育の特色は、従来の鍼灸師養成とは一線を画し、医師グループの監修のもと、医学的視座を深く組み込んだ統合的な臨床教育にあります。

2009 年、天津中医薬大学附属第一医院元院長である韓景献教授との出会いを契機に、「健康長寿の鍼」として知られる三焦鍼法を導入し、翌年より認知症領域を中心とした実践教育を開始しました。

これまでに約 270 名の資格認定 Gold-QPD 鍼灸師を育成し、各地において臨床データの蓄積と検証を重ねてきました。その成果は、加齢性疾患や生活習慣病、認知症にとどまらず、近年では精神・神経領域やコロナ後遺症へと応用の広がりを見せています。

こうした医療的根拠に基づく実践の深化を受け、本講座は「三焦鍼法実践セミナー」として再編され、オンライン講義、症例検討談話、手技トレーニングを統合した教育体系へと発展いたしました。このように鍼灸師と医師の継続的関与のもとで構築された鍼灸教育プログラムは、きわめて先進的かつ独自性の高い取り組みであると広く認められてきました。

三焦鍼法は、今後は全国各地において、地域の包括支援システムに深く入り込むパイロット協働事業の展開を目指しております。また、保険医療制度のオンライン診療に組み込む準備も模索を開始しつつあります。それらの努力により高齢社会でさらに役立つ鍼灸師育成を展開できるものと期待しております。

本冊子が、本セミナーの理念と実践的価値への理解を深め、皆さまとともに次代の医療の補完作業（鍼灸ケア）を切り拓く契機となれば幸いです。

第1章 三焦鍼法ケアが注目を浴びる

なぜいま三焦鍼法実践セミナー？

Q1 認知症先端薬が生まれたばかりなのに、なぜ今三焦鍼法で認知症対策？

2025年は認知症患者数が750万人。しかしその予防・治療は未定。

認知症薬レカネマブは高額過ぎ、アリセプト類は有効だが副作用もあり中断者も少なくない。
街の鍼灸院のGold-QPD鍼灸師は、身近な相談・予防・治療に積極的に対応します。

Q2: 三焦鍼法は認知症の予防と治療にほんとに役立つか？

三焦鍼法を週1回実施、3回目までにかなりの患者さんの気分は安定化します。

施術回数とともにBPSD（行動心理症状）が軽くなる傾向があります（映像・論文別紙）。

Q3 三焦鍼法が認知症に効果的であると推察する理由は？

認知症BPSDは、認知、感情、気分、感覚などの神経回路不調から誘発される。

これら大脳辺縁系（海馬、扁桃体、視床、視床下部）の不調を調整します。

Q4: 三焦鍼法の施術上の最大の特徴は？

三焦鍼法の配穴は、健康長寿を目指す究極の6穴9鍼に原則として固定してある。

そのため三焦鍼法の報告は、規定された方法論からなる科学分析の研究対象となる。

Q5 三焦鍼法実践セミナーを受講して授与される認定資格は？

当セミナーは鍼灸師と共に鍼灸学校学生の卒前教育とみなされる。

Zoomミーティングでオンライン講座内容を徹底討論し、

手技トレーニングに合格すればGold-QPD鍼灸師認定証が授与される。

Q6 三焦鍼法実践セミナーに、新たに上級資格認定証を加えた？

上級資格認定証は、従来の認知症特別資格認定証と実質的に同一である。

独自の映像を視聴し、Zoomミーティングで討議し5症例を報告する。

認定委員会で合格とみなされれば、上級資格認定証が授与される。

Q7 三焦鍼法実践セミナーに、新たにマスターコースを加えた？

それとは別個に、新たな映像で勉強し地域のため街おこし事業に参画し報告する。

Zoomミーティングで討議し、地域活動が認められればマスター資格が授与される。



第2章 三焦の視点で読み解く身体

「三焦鍼法とは」

中医学の「益気調血 扶本培元」に基づく健康長寿を目指す鍼施術法。 体の上焦・中焦・下焦を活性化し「元気エネルギーを増し、血液を調整し、先天力（親）と後天力（自身）を助長し健康長寿の実現」を意味する。

「三焦鍼法がとくにケア効果を示す症状」

生活習慣病のケア効果を果し老年症候群（加齢性変化）の発症を遅らせる。

認知症について

- 1) 認知症予備軍（MCI）が認知症へ転換するのを予防するか遅らせる。
- 2) 認知症行動心理症状（BPSD；怒り、イライラ、暴言）を緩和する。

メンタル症状・コロナ後遺症について

- 1) メンタル不調（うつ、パニック、不安神経障害）を緩和ケアする。
- 2) コロナ後遺症 Long COVID（慢性疲労、動悸、ブレインフォグ）症状を緩和し立ちなおる役割を果たす。

「三焦鍼法の手技」

究極の健康長寿ツボ計6穴（外関、足三里、血海、気海、中脘、膻中）左右合わせ計9鍼を捻転刺激し上焦・中焦・下焦の臓腑を調整する。

「三焦鍼法の特異点」

- 1) 前向き感情「やる気、やさしさ、感謝」を特異的に誘導する。
- 2) 病名に対応する治療というより大脳辺縁系（認知、感動、感覚、自律神経）の乱れた神経回路を調整し諸症状を緩和改善する。

（「鍼灸ルネサンス」 編著者 川並汪一 国書刊行会（2022, 4 発刊）

第3章 三焦鍼法実践セミナーの新版

〔I〕 Gold-QPD 鍼灸師資格認定コース（従来の Gold-QPD 資格認定証の授与）

オンライン基礎編 + Zoom ミーティング + 手技トレーニング + 認定テスト

＊オンライン講座：全 18 講義を 6 ヶ月以内に視聴。感想文・コメントを提出。

認定委員会から Zoom ミーティングに招待される。

（受講開始 2 ヶ月以内に基礎編 6 部の感想文提出、残りは 4 ヶ月以内に提出）

＊Zoom ミーティング：年に複数回開催予定、受講生は何度でも参加できる。

内容：新規受講者の自己紹介、オンライン講座内容に関する講師との対話、
脳神経内科・認知症専門医による「認知症ショートストーリー」を楽しむことが出来る。

＊手技トレーニング：Zoom ミーティング修了者は何度でも参加できる。新卒学生のため春の開催（3 月～5 月予定）を中心に、年に複数回開催する予定。

内容：対面手技トレ前に捻転法の基礎的机上実技トレーニングを実施しマスターしておく。三焦鍼法の取穴法、対人施術とくにメンタル疾患患者に対する留意点などを徹底して学ぶ。

＊認定テスト：対人手技トレーニングに続き実施する。

（学生の場合は国家資格取得後の対人トレの後にテストを実施する）



Gold-QPD 鍼灸師認定証授与

その後、

「生涯学習サポートコース」に移行し以下の〔II, III〕に挑戦することができる。

〔II〕 三焦鍼法上級資格認定コース

受講したい由事務局に連絡し、上級資格認定用標準カルテを受け取り施術時に利用する。さらにオンライン上級編を再視聴し、Zoom ミーティングの準備をする。
モデル標準カルテの要領に従い報告書を準備する。

＊老年症候群（健康高齢者を含む）、生活習慣病、認知症、メンタル疾患・コロナ後遺症、脳神経系難病患者などの患者 5 人分の報告を用意する。

＊医療の専門認定委員が適切に指導する下で、三焦鍼法治療の応用範囲を広げる。
各患者につき週 1～2 回の施術結果を 12 回以上標準カルテに記載する。

オンライン講義上級編の感想文 + 5 症例報告提出 + Zoom ミーティング

＊上級編 6 本の映像を再視聴し、感想コメントを提出する。

＊Zoom ミーティングでは症例の体験について報告し質疑応答をする。

認定委員会による審査



三焦鍼法上級資格認定証授与

〔III〕 三焦鍼法マスター資格認定コース（パイロット協働事業の試み）

コース受講希望者は、以下を並行して実施する。

- 1) オンライン講義マスター編を再視聴し、感想文を再提出し
- 2) 三焦鍼法を地域活動に応用した実践計画を立案し挑戦につき相談する。
- 3) 社会的に認知された信頼性の高い活動として試みたいとの要望があれば、一般社団法人老人病研究会は協働活動メンバーとし参画し推進します。

（例）協働事業内容の例

- ① 地域住民との対話・広報活動
 - テーマ別ミニ講座の開催（10～20名）「高齢者のフレイル予防」
 - カフェ形式の交流会、ニュースレター配布
- ② 施術デモ・体験活動 短時間の刺鍼体験＋セルフケア指導
 - 慢性疲労・肩こり・不安症状などの改善プロセスを公開
- ③ 団体との協働プロジェクト
 - 地域包括支援センター・家族会介護疲れに対するケアやストレス対策講座
- ④ 医療との連携型ケアの実践
 - 訪問診療、オンライン診療チームとの協働作業として連携し、在宅療養者に対する補完ケアとして実施する。
 - 慢性疾患患者のQOL改善プログラム 主治医と連携した統合ケアモデル試行

* 三焦鍼法上級資格認定コースとは別に、社団会員で Gold-QPD 鍼灸師であればだれでも挑戦できる（パイロット事業として計画中）。

* 上記の計画および実績は認定委員会にて審査され、社団として積極的に応援し必要に応じ協働事業のメンバーとして参画します。

事業立ち上げ Zoom + 経過報告と相談 Zoom + 報告書提出

マスター資格用計画とその結果報告は認定委員会に報告され審査される。



三焦鍼法マスター資格認定証授与

まとめ（三種類の認定資格とそれらの実習内容）

認定資格	オンライン講座	Zoomミーティング	実習内容
〔I〕 Gold-QPD鍼灸師	○	○	手技トレーニング
〔II〕 上級資格	○	○	症例報告
〔III〕 マスター資格	○	○	活動報告

第4章 いつでもどこでもオンライン映像（開始後全6ヶ月間に限定）

三焦鍼法実践セミナー オンライン映像集

	Gold-QPD認定用基本映像	課題
A	開発者韓景献本人による三焦鍼法施術	第一印象は？
B	韓景献本人による三焦鍼法の解説	中医学の健康長寿とは？
C	三焦鍼法手技の中医鍼灸師による応用	施術者毎に特徴があるか？
D	高齢の認知症患者への応用と問題点	高齢者への対応とは？
M	MMSE（記憶力簡易テスト）の実体験	神経内科教授の認知症診断とMMSE？
T	三焦鍼法体験した患者家族談話の印象	家族の感想に対する印象は？

	上級資格認定用映像	課題
E	未病・生活習慣病・老年症候群について	認知症と生活習慣病と老年症候群の違い？
G	認知症の一般的な常用穴とその解説	認知症に対する常用穴と三焦鍼法の違い？
H	なぜ得気（酸麻重膨）が重要であるか	中医学の特異な手技は何のためか？
I	捻転手技の達成度を測定する機器と応用	刺鍼手技の標準化のためにどう役立つか？
J	Gold-QPD鍼灸師の報告論文とその解説	過去の上級資格認定を受けた報告内容は？
K	Gold-QPD鍼灸師によるラポールと対話	Gold-QPD鍼灸師の思いやりとは？

	マスター資格認定用映像	課題
S	高齢者施設の体験講話	介護士/看護師の関係はどうあるべきか？
L	会長・副会長・受講生の対話	多彩な鍼灸体験を持つ医師の体験とは？
N	高齢者に多い精神疾患の特徴	高齢者の神経障害はどうしておこるか？
O	認知症症状と対応する漢方処方	中医学の漢方に石は同注目しているか？
Q	生活習慣とleaky gut/leaky brain/	はじめに腸内細菌有り、脳にも影響する？
R	高齢者施設の満足度と今後の課題	高齢者は施設で幸福か、不満もあるか？

- ①基礎・上級・マスター資格コースの視聴期間はそれぞれ開始3ヶ月です。
- ②受講者はまずGold-QPD認定用映像から視聴することになる。
右蘭の課題に沿って、200～400字の感想文を事務局に送付する。
- ③合格レベル以上であれば、Zoomミーティングにてまとめの対話に招待される。
- ④上級・マスター資格コースではそれぞれ症例報告と活動内容について対話する。

*①の改訂：視聴期間は開始後全6ヶ月限定。社団入会者は視聴期間を一定延長できる。

第5章 資格認定用の受講手続き（受講資格と受講料）

三焦鍼法実践セミナーの受講手続きと受講料

*受講手続：<http://gochojunet.com> にて

オンラインの事前登録 ⇒ 振込入金 ⇒ 受講開始申込 ⇒ 映像の放映となる。

*対象者 鍼灸師、鍼灸学校学生（教員養成科、大学生を含む）、医師

*受講料 資格認定コースにかかる受講費を最大限絞り込みました。

（従来と比べ受講内容を簡素化、受講しやすい費用に大胆に削減）

鍼灸師	鍼灸学生	医師
5万円	3.5万円	10万円

認定証授与；Gold-QPD 認定証は受講費に含む、上級・マスターは有料

医師：特別に開催する医師用特別手技トレーニング代を含む。

（医師免許は鍼灸施術の許可を含む）

鍼灸学生：専門学校、教員養成科、鍼灸大学の学生を含む。

専門学校の学生は、国家資格獲得後に損害保険証を得てから対人手技トレが許可される。資格認定試験は翌3月～5月を予定している。合格すればGold-QPD 鍼灸師となる。その後、社団正式会員として「生涯学習サポートコース」に進むことができる。

*受講時期 受講開始は随時可能。オンライン授業の有効期間は全6ヶ月限定。

*各コースの社団会員（学生は準会員）のオンライン再受講は、事務局へ申請すれば一定期間、手数料なしで許可される。

*Gold-QPD 資格認定後、社団入会で「生涯学習サポートコース」に進級。

（地域での主治医・包括支援システムとの協働活動を目指しパイロット事業の参加申込みを受付中）

① 認知症やメンタル関連疾患のケアと経過観察報告

② 健康保険で解放されたオンライン診療の見守りケアの協働事業など、

***受講料を支払った後、個人の事情で払戻しすることは出来ません。

お問合せ；gold.qpd.jimukyoku@gmail.com



第6章 三焦鍼法実践セミナーの来歴

[Integrated Sanjiao Acupuncture Seminar]

- 2007年：文部科学省・戦略的基盤研究社会連携事業（日本医科大学老人病研究所）
「認知症街ぐるみ支援ネットワーク」にて認知症対策の世界的潮流を学ぶ。
- 2010年：「認知症 Gold-QPD 育成講座」（鍼灸、医学、介護）を開設
天津中医薬大学韓景献教授（中国鍼灸学会脳神経病部門会長）と事業契約
文部科学省支援による世界初の「認知症鍼灸医療介護講座」として開始。
- 2015年：文部科学省・成長分野における中核的専門人材養成等の戦略的推進事業
「超高齢社会における認知症患者に寄り添う医療・介護連携型の中核的鍼灸
専門人材の育成」というテーマで書籍教材とDVD教材作成
（後藤学園（現衛生学園）、敬心学園、呉竹学園と当団体の共同事業）
- 2021年：鍼灸師・医師が対象であったが鍼灸専門学校・鍼灸大学の学生にも開放
「認知症」に加え「メンタル疾患・コロナ後遺症」の鍼灸治療効果を確認
- 2022年：講座名「認知症 Gold-QPD 育成講座」を「三焦鍼法実践セミナー」に変更
- 2024年：「三焦鍼法実践セミナー」を三段階認定証授与方式とし地域活動に着手。

これまで Gold-QPD 鍼灸師の認定を受けた数（セミナー受講中の学生を含む）

第1～12期生		第14～16期生	
既卒者	203名	鍼灸師	23 計51名
		学生	28

現在第20期生が受講中（合計270名余）

＊三焦鍼法上級資格認定証（従来の認知症特別資格認定証）（計36名）

三焦鍼法マスター資格認定証は準備中（2024年4月開講）

＊設定済みの全国 Gold-QPD 地域フロンティア代表（計61名）

地域での健康集会、街おこし集会などの活動を推進中。

Gold-QPD 鍼灸師サイト参照 (<http://gochojunet.com/gold-qpd.com/index.php>)

ロゴマークの説明



〔Gold-QPD〕：弓矢を鍼に代えて施術し人々を幸福に導くキューピッド鍼灸師のこと。



〔三焦鍼法〕：上焦・中焦・下焦を活性化し抗加齢、緩和ケア、健康長寿に役立つ。

これらのロゴマークと用語は既に（本邦・国際）商標登録済みです。

Gold-QPD 鍼灸師と一般社団法人老人病研究会、許可された関係者を除き勝手に使用することとは許されません（違反は処罰対象となりますのでご注意ください）。

編集後記 （未来への展望、次なる挑戦）

コロナ禍に見舞われた 2020 年は、認知症 Gold-QPD 育成講座の開催に至りませんでした。

しかしながら、この期間は理事各位とともに、講座運営の長短をあらためて顧み、その在り方を再考する貴重な機会となりました。

続く 2022 年には、意を決し講座のオンライン化に踏み切り、新たに手技トレーニングを導入いたしました。

現理事体制のもと、さらに抜本的な見直しと修正を加え、「生涯学習サポートコース」を編入することにしました。その結果、ここに本冊子が一般社団法人老人病研究会創立 70 周年を記念号として位置づけられました。

（なお 2026 年 5 月には、内容の一部は加筆修正を施しております）（川並）

三焦鍼法実践セミナーの趣旨 （教育教材資料）

発行日 2024 年 3 月 31 日 / 2025 年 5 月 15 日改訂

発行者 川並汪一

発行所 一般社団法人老人病研究会本部

住所 〒160-0022 東京都新宿区新宿 1-29-8 公衛ビル 3 階
三焦鍼法実践センター内

電話 080-8837-0758 メール gold.qpd.jimukyoku@gmail.com



設立 70 周年記念

一般社団法人老人病研究会（2024 年/2026 年改訂）